

高校生がタイで教育交流

結城市とタイの教育交流で8月1日から8日まで、結城一高の古谷英雄校長と2年生の梅山七星さん、渡邊拓巳君、結城二高の時野谷栄治校長、猪瀬美夢さん、大森一輝君の6人がタイを訪問。結城市と姉妹都市を締結しているタイのメーサイ市と、メーサイ病院やメーサイ高、ドイトン本部、麻薬博物館、パヤオピタヤコム高などを訪問しました。

結城市とメーサイ市は平成24年に姉妹都市を締結。公益財団法人「茨城国際親善厚生財団（IIFF）」の仲立ちで、平成24年から毎年、約1カ月間、タイの高校生を受け入れ、結城一高と二高で日本の高校生活を体験。平成25年から結城市の高校生をタイに派遣し、今年で3回目を迎えました。

タイの高校では授業や施設を見学し、タイの高校生たちと楽しいふれあいの時間を過ごしました。大森君は「日本のアニメが人気で、タイの人たちと仲良くなり、時間があっという間に過ぎました」、猪瀬さんは「今回の経験を生かして海外と通じる仕事をしたい」。渡辺君は「タイの人はとてもフレンドリーだった」、梅山さんは「麻薬博物館を見学し、麻薬撲滅運動がすごい活動と知りました」と感想を語っていました。古谷校長、時野谷校長はタイで簡単な日本語授業も行い、「図書館にミニシアターもあり、タイの高校はとても整備されていました」と話していました。

平成28年9月8日



タイの生徒たちと一緒に



紙すきを体験する生徒たち



麻薬撲滅活動の拠点も訪れた



タイの高校の授業を見学



タイを訪問した猪瀬美夢さん、梅山七星さん、渡邊拓巳君、大森一輝君